

平成28年度病害虫発生予報第12号(3月予報)

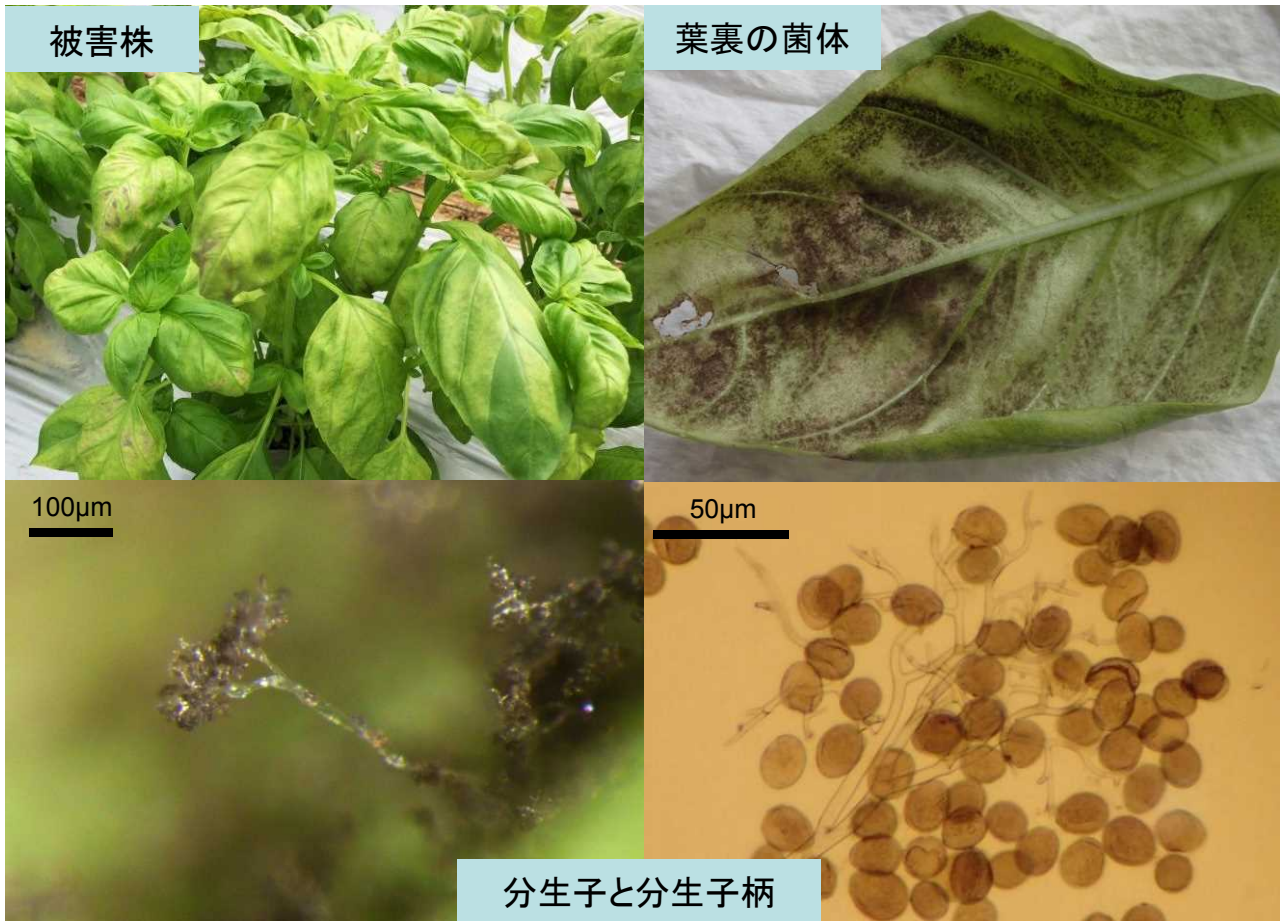
- <今月のコラム>
- ・水稲(一期作)移植期におけるスクミリンゴガイの防除対策
 - ・オクラのトンネル栽培におけるアブラムシ類の防除対策
 - ・この春(3月~5月)と夏(6月~8月)の気象予報

- <お知らせ>
- マンゴーにおけるチャノキイロアザミウマの発生推移について以下URLに掲載しています。
<http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/norin/byogaichubojo/documents/chanoki.html>
 - さとうきびにおけるメイチュウ類の発生推移について以下URLに掲載しています。
<http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/norin/byogaichubojo/documents/meichu.html>

今月のトピックス

メボウキベと病(バジル)

学名 : *Peronospora belbahrii*



生態と被害

本病は主に葉に寄生する糸状菌による病害で、葉表は黄化し、葉裏に灰白色霜状の菌体を生じる。進展すると葉裏全体が黒~灰白色の菌体で覆われ、葉枯れ症状を呈して容易に落葉し、やがて立ち枯れる。寄主植物はシソ科のメボウキ属と、カワミドリ属及びコリウス属の一種が報告されている。り病植物やその残さが伝染源となり、分生子により空気伝染する。海外では種子伝染も報告されている。発病は多湿条件で助長されるため、透光、通風、排水を良くし、密植を避ける。特に施設栽培では湿度管理に注意する。また被害葉は速やかにほ場外に持ち出し、栽培終了後は残さを確実に処分する。国内では平成26年に初めて確認され、本県では平成28年に発生が確認されている。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/index.html>